

明治大学国際総合研究所  
大規模自然災害時のSCMに関する情報ネットワークの脆弱性とその対策  
(第5回研究会)

<開催要領>

日時：2013年12月9日(月) 14:00～16:00

場所：明治大学アカデミーコモン 8F A7,8会議室

出席者：全24名

<議事>

- 1) 開会挨拶
- 2) 【講演】情報セキュリティ心理学を考える ～ Human Hack/Human Defense ～  
(講師) 情報セキュリティ大学院大学 名誉教授 内田 勝也 先生
- 3) ディスカッション
- 4) 閉会挨拶

<議事概要>

- 1) 開催挨拶：明治大学 中西教授より
- 2) 【講演】
  - ・ソーシャルエンジニアリング (social engineering) の定義と手法について。
  - ・情報漏えいにおける事例 (なりすまし、ごみ箱あさり、サイト侵入、覗き見、など) および、最近のセキュリティ対策について。
  - ・情報セキュリティの弱点は「人間」。近年、技術面より、人間とマネジメントにおける穴をねらわれる場面が増加傾向であり、日本では、この面について軽視される傾向がある点について。
  - ・最近の傾向として、十分な情報収集および分析を行ってから犯すケースが多い。また、情報セキュリティは技術だけでカバーするのに限界を迎えている点について。
- 3) ディスカッション
  - ・社内における情報セキュリティの強化策としては、社員教育の徹底のほか、社内文化を無理やり変えるのではなく、社員が自然に行えるように「制度」や「ルール」を変えようが受け入れやすい。
  - ・セキュリティの点から「本当に守るべき情報」と「その他の情報」の取り扱いを区別する。
  - ・医療分野の電子化について。都心部よりも地方の方が進んでいる事例もある。今後の促進に向け、インセンティブをつけた促進活動が必要と思われる。  
など、活発な議論が繰り広げられた。
- 4) 閉会挨拶：明治大学 中西教授より